

ジョリパットアルファ
JP - 100 シリーズ
乱流仕上げ
施工の手引き

【初版】平成22年4月

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー (モルタル下地の場合)	ジヨリパットシーラー JS-500	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	18kg石油缶	135 ~ 180 m ² / 缶 (水希釈 50%の場合)
主 材	ジヨリパットアルファ JP-100 シリーズ 標準色 JP-100T (...数字) 特注色 JP-100 (...英字、 ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg ^レ 缶	約 7 m ² / 缶

< 主な施工道具 >

- ・ 金ゴテ

< 下地調整 >

下地は、モルタル金ゴテ押さえ（平滑）として下さい。

< 乱流仕上げ施工方法 >

1. シーラー塗布

配 合	JS - 500	18 kg
	清 水	9 ~ 18%
塗 布 量	0.15 ~ 0.2 kg / m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地に最適なシーラーを選定して下さい。
 3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

・ジョリパットを無希釈で0.9 kg / m²となるよう
 金ゴテにて平滑に塗布する。

夏期 4時間以上
 冬期 12時間以上
 乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

配 合	JP - 100シリーズ	20 kg
塗 布 量	約2.0 kg / m ²	
施工道具	金ゴテ	
	金ゴテにて、材料を均一に配る。	

追いかけ (5分以内)

4. パターン付け

・金ゴテで楕円を描くようコテ動かし、ジョリパットの表面を引きずるようにして模様をつける。
 (図 - 1)

<施工のポイント>

- ・金ゴテのエッジを立てず、コテの裏面全体でジョリパットの表面を引っ張るようにして楕円状に模様をつける。
(図 - 1)

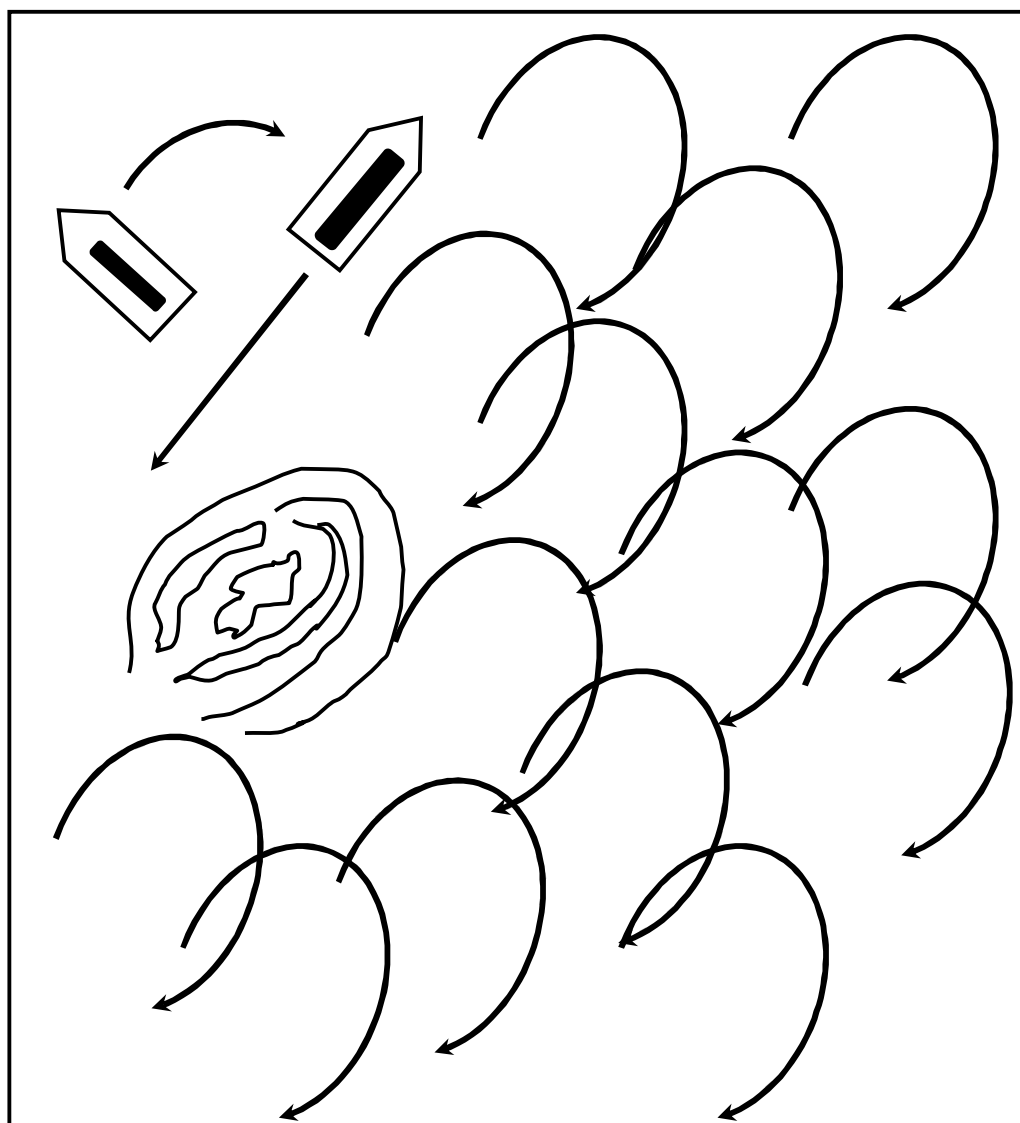
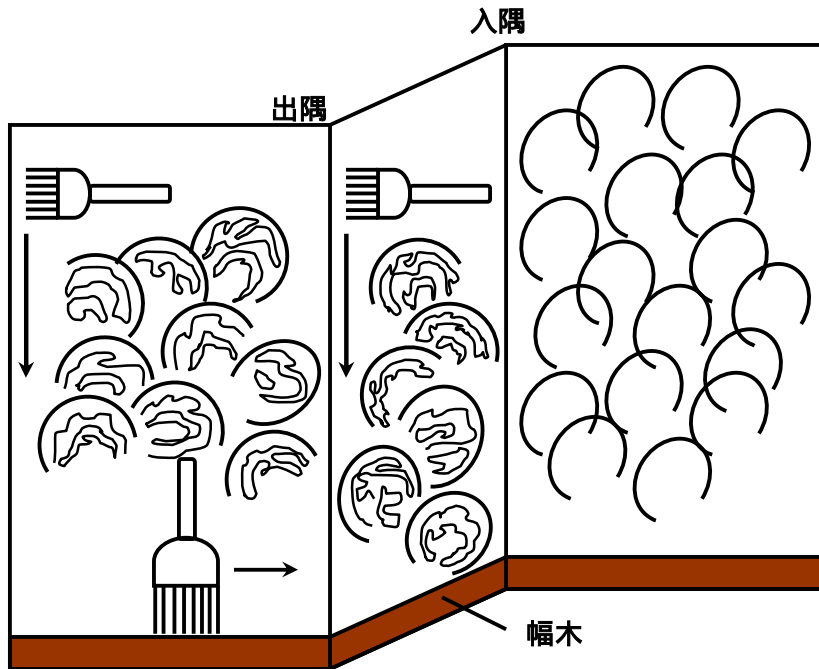


図 - 1

- ・金ゴテを から の順に動かし、パターンを付ける。 の方向にコテを抜くと、コテ切れが良い。

入り隅、出隅の処理方法

- ・ 入り隅や出隅、幅木のちりは、ジョリパットが乾燥する前に水を浸した刷毛（平刷毛など）で押さえる。（図 - 2）



刷毛で押さえる工法

図 2

< 施工の注意事項 >

- ・ 天候、風等の条件によっては、極端なパターンの段差部分にヘアクラックが発生する場合があります。あまり、極端なパターンの段差をつけないよう注意して下さい。(図 - 3)

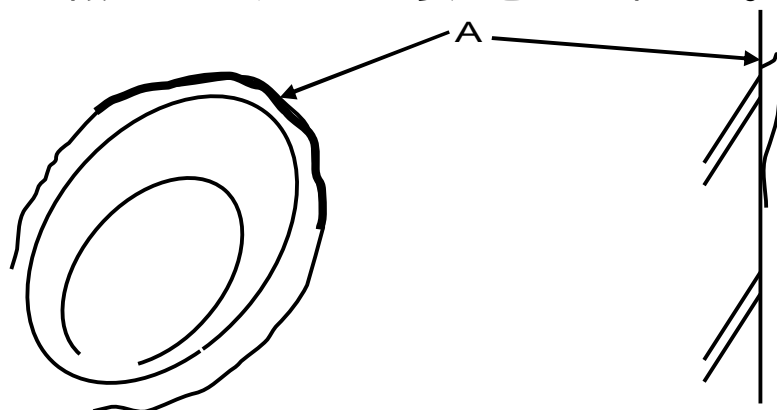


図 - 3

- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。
- ・ シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・ 施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への施流は避けてください。

以 上